

### (3) 池袋副都心整備ガイドプラン(平成22年6月)

これからの人口減少、超高齢社会における都市づくりは、これまでのような社会経済の拡大成長を前提とした、今ある課題に対処するだけでは十分とは言えません。国際化や高度情報化などの社会経済情勢の急激な変化に加え、人びとの価値観の多様化、地球環境への配慮、健康、安全・安心など、新たな課題にも的確に対応していかななくてはなりません。

そこで、豊島区では池袋の将来あるべき姿を明らかにし、その実現に向けて一歩ずつ段階的に都市づくりを進めていくことで、次の世代に引き継ぐことのできる個性と魅力あふれる池袋を築いていくため、「池袋副都心整備ガイドプラン」を策定しました。

#### ① ガイドプランの役割

池袋副都心地域における、公民連携・協働により都市計画やまちづくりを展開していくための指針となります。個別の事業計画や開発計画を進める際の参考となるよう、将来像、重点行動目標「池袋のチャレンジ」、まちづくり方針、エリア別まちづくり方針、に分けて池袋副都心の都市づくりの考え方や方向性を示します。

#### ② 将来像

『文化と活力、みどりにあふれ新たなチャレンジの舞台となる「まち」池袋』

池袋が持つ魅力である、多様な価値を容認する「文化」、包容力がもたらす「気安い雰囲気」などを活かして、池袋に暮らし訪れるすべての「ひと」が主役となり、豊かさを享受できる「まち」の実現を目指します。

#### ③ 重点行動目標『池袋のチャレンジ』

将来像の実現に向けて、特に重要性が高く、公民が連携・協働して優先的・継続的に取り組む都市づくりの4つの目標

チャレンジ1: 池袋駅とその周辺を再生する

チャレンジ2: 文化を創造・発信する

チャレンジ3: 環境対策を率先する

チャレンジ4: 交流をはぐくむ舞台をつくる

#### ④ まちづくり方針

都市構造の特徴や周辺地域との連携という観点から、「池袋のチャレンジ」を通じて形成していく都市の姿を整理します。あわせて、「ひと」が主役となり、池袋の成長を支えていくための都市機能や公共施設整備のあり方を明らかにします。

(ア) 文化とにぎわいの交流拠点の形成

(イ) 人にやさしい回遊空間の形成

(ウ) 環境に配慮した街並みの形成

#### ⑤ エリア別まちづくり方針

多彩な顔を持つ池袋の特徴や地域ごとの課題を踏まえ、池袋副都心全体を3つのエリアと1つの都市軸に区分し、エリアごとに具体的なまちづくりの取組みを示します。

- (ア) 池袋ターミナルエリア ～池袋駅及び駅周辺を再生し人の流れを生み出す～
- (イ) 東池袋エリア ～池袋の新しい魅力をつくる～
- (ウ) にぎわい交流エリア ～ヒューマンスケールのにぎわいを誘導する～
- (エ) 池袋の都市軸 ～池袋の顔(象徴)として緑と環境が体感できる～

⑥ まちづくりの実現化に向けて

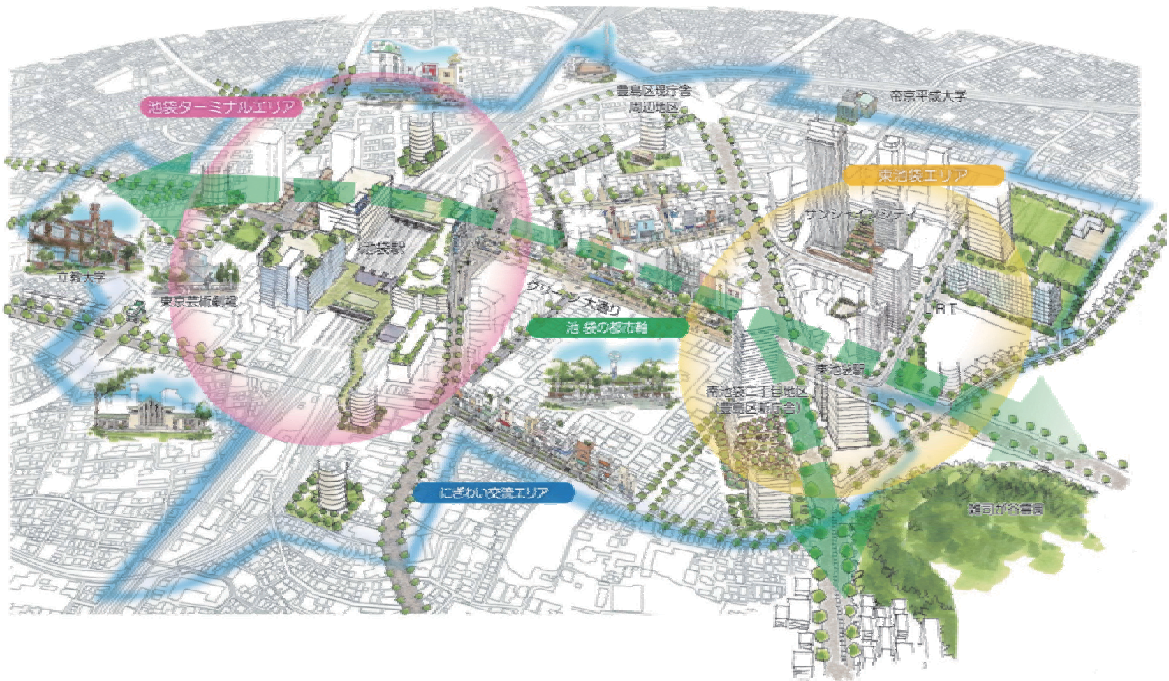
(ア) 実現に向けたロードマップ

平成 24 年度と平成 30 年度の 5 年ごとの短期・中期・長期のステージに分けて、4 つのチャレンジごとに段階的なまちの成長イメージを示します。

(イ) 実現化に向けた方策

- ・ガイドプランによるまちづくりの誘導・調整
- ・豊島区の計画等と連携したまちづくりの推進
- ・地域主体・公民連携によるまちの持続的発展

図表 2-4-2 池袋副都心の将来イメージ



※平成 27(2015)年策定の豊島区都市づくりビジョンに反映し、役割を終了